

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	十日町市 (152102)
地域名 (地域内農業集落名)	水沢地域 (当間、珠川、大石、水沢市ノ沢、水沢、馬場、太田島、新宮、小黒沢、大黒沢、伊達、土市、天池、細尾、池ノ尻、南雲、中在家、漆島、池沢、野中、鍬柄沢、安養寺、姿)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	860 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	806 ha
② 田の面積	701 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	105 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	137 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	36 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	153 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	71 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

《地域の概要》

信濃川の平坦地及び主要河川「当間川・入間川」の扇状地からなる水田地帯と、緩傾斜からなる畑を中心とする段丘地帯によって形成されている。

団地形成が可能な箇所については農業生産基盤の整備と優良農地の確保を図るため、当間(H23～R2)、姿(H30～R7)、入間(R3～R8)地区では農地環境整備事業によるほ場整備が行われ、また黒沢地区(R6～R14)では経営体育成基盤整備事業による取り組みが行われている。

なお、姿地区については、ほ場整備により上山及び中山で農作業の安全性と省力化が図られたが、ほ場整備が行われていない下山では異常高温による水不足が深刻化しているため、ほ場整備を推進するとともにため池の建設などの渇水対策をしていかなければならない。

また、入間川左岸の細尾地区は、昭和40～42年に基盤整備が行われたが、整備後約60年が経過し農業用施設の老朽化が進み、用水路からの水漏れと併せて用排水路が分離されていないため乾田できない状況にある。このことから、再度ほ場整備を進める必要がある。

一方、段丘地の畑地は、栗団地・さるなし団地が整備され、そばや園芸作物といった露地栽培を含め総合的に活用している。

《農作業の省力化》

将来的な農業労働力の減少に伴い離農が進む一方、これまで農地の受け皿となっていた認定農業者も高齢化し農地を引き受けきれない状況となりつつあり、個人農業者から農業法人組織への委託が急増している。

《鳥獣被害》

山間部の農地については、有害鳥獣(イノシシ等)の被害が顕著であるため、その対策も喫緊の課題である。

《保全・管理等》

農業・農村は、多面的機能を有しており、その利益は多くの国民(市民)が享受している。しかしながら、集落機能の低下により、その多面的機能の発揮に支障が生じつつある。

また、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地等の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念される。

《集積、集団化》

水沢地域は一部基盤整備が進んでいるほ場もあるが、条件不利地(小区画、不整形、水不足、日照不足など)は用排水路等に支障があり、これを維持管理するための担い手の確保、農地集積が厳しい状況となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

《水稻》

魚沼産コシヒカリの高品質生産を主軸に、酒米や、飼料用米などの新規需要米の生産による水田のフル活用を図るとともに、コシヒカリを適期に収穫できるよう、早生、晩生品種を取り入れた作期分散に努める。

有機栽培や県認証栽培、GAPの認証制度などを活用し、消費者ニーズを踏まえた減農薬栽培など、環境保全型農業による高付加価値化を図る。

《園芸》

米一辺倒の栽培ではなく、生産者と関係機関が連携した「かぼちゃ」や「ねぎ」などの1億円産地化に向けた取り組みを進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

《農作業の省力化》

農作業の負担を軽減するとともに、限られた作付け期間の中で一人当たりの作業可能面積を拡大し、安全かつ高精度な農作業が可能となる作業環境の確保を目指す。

《農地中間管理機構の活用》

耕作放棄地が発生しないよう、農用地及び耕作者の状況の確認を行い、中間管理機構を利用し集積を行う。

《多様な経営体》

地域おこし協力隊、移住者、外国人研修生等の多様な担い手の確保・育成に取り組み、農地の維持・集積を進めていく。

《保全・管理等》

中山間直払や多面的交付金を活用した中で、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにするとともに、担い手農家への農地集積を後押しする。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	32.4 %	将来の目標とする集積率	35.3 %
()内は作業受託を加えた集積率	(38.1 %)	()内は作業受託を加えた集積率	(40.9 %)

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手の経営意向を考慮しつつ、目標地図に位置付ける者を中心に農地中間管理事業による集約化を段階的に進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
認定農業者や農業法人の従業員の後継者確保や農業機械・施設の整備及び、生産組合等の法人化を推進し、農業経営基盤の強化を図ることで農地集積を進めていく。 個別経営体の育成についても農地の利用集積や組織との農地の利用調整など、地域における話し合いを進め、特に換地と一体的な利用権設定を推進し、土地改良区との連携の中で担い手農業者が連坦的な条件下で効率的な生産を行えるよう農作業の合理化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構に貸付けを希望する復元可能な遊休農地や、経営の廃止・縮小を希望する高齢農家等の農地に加え、利用権の設定期間が満了する農地等についてもリスト化を行い、農地中間管理事業の活用を検討するなど、農地の出し手と受け手の意向を踏まえたマッチングを行う。
(3)基盤整備事業への取組
①用排水路の暗渠化 ・水路の暗渠化(管路化)により、泥上げや草刈除草などの維持管理作業の省力化と転落リスクの軽減による安全性の確保を図る。 ・水路の暗渠化を進めながらも、既設の水路・土側溝も補修・整備して維持・管理していく。 ②中山間地ほ場(小区画・不整形)の基盤整備 再ほ場整備を含め、ほ場の大区画化と除草作業を考慮した基盤整備により農作業の安全性確保と省力化を進める。 ③補助事業の活用 基盤整備の推進に当たっては、農地中間管理機構とも協議した上で、補助事業を最大限に活用する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
小規模な兼業農家や、いきがい農業を行う高齢農家、及び土地持ち非農家等も補助労働力の提供等により、地域営農に欠くことのできない戦力となっている。 このことを踏まえ、地域全体としての発展に結びつくよう、その他の兼業農家等にも、地域内の農地情報の提供を行い、農地の有効活用をしてもらう。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
《無人ヘリ等防除》 無人ヘリによる防除は作業省力化による農家の労力軽減に加え、農薬のコスト低減や適期防除の徹底が図られ、品質の均一化にもつながっている。 なお、病虫害防除は、散布時期が集中するため、適期防除の観点から民間事業者によるドローンを用いた農薬・肥料の散布についても、その有効性を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

《①鳥獣被害防止対策》

有害鳥獣の餌となる放任果樹の除去や収穫後の野菜くずを放置しないなど、被害の未然防止に努める。

また、集落や農地と、野生動物が生息する森林との境を明確にするため周辺林地の草刈りを継続することで有害鳥獣を誘引しない環境づくりを行う。

《②有機・減農薬・減肥料》

◆環境直払の活用

地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくため、「環境直払」の活用と推進を図る。

◆有機未利用資源の有効活用

粃殻やそば殻、きのこ廃菌床、家畜糞尿、食品残さなど、有機未利用資源の有効活用を検討し、農薬や肥料等のコスト低減を図る。

《③スマート農業》

◆スマート農業の推進

水路の暗渠化や農地の大区画化に併せ、作業の省力化、作業従事者の労力軽減に向けたスマート農業の推進を図る。(自動走行農機、農業用ドローン、自走式草刈り機の導入等)

◆自動給水栓

水田稲作において、水稻の生育状況に合わせた適切な水管理は重要であるが、ほ場の巡視や給水栓等の操作に多大な労力を要している。自動給水栓の導入により、農家の見回りや水管理操作労力の削減を図る。

《⑦保全・管理等》

中山間直払と多面的交付金の活用にあたっては、農業者を中心に、地域住民や都市住民だけではなく、地域おこし協力隊・移住者・外国人研修生等の多様な主体の参加が得られるよう取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		水稻、野菜、果樹	38.2 ha	24.4 ha	水稻、野菜	39.7 ha	24.4 ha	(認農)法人A	
認農		水稻、豆、そば	30.8 ha	9.1 ha	水稻、豆、そば	33.2 ha	9.1 ha	(認農)法人B	
認農		水稻、そば	14.1 ha	0.7 ha	水稻、そば	15.8 ha	0.7 ha	(認農)法人C	
認農		水稻、そば	10.7 ha	2.8 ha	水稻、そば	15.4 ha	2.8 ha	(認農)法人D	
認農		水稻、果樹、豆	9.5 ha	0 ha	水稻、果樹、豆	9.5 ha	0 ha	(認農)法人E	
認農		水稻、野菜	24.1 ha	1.2 ha	水稻、野菜	24.14 ha	1.2 ha	(認農)A	
認農		水稻、野菜	4.5 ha	0 ha	水稻、野菜	4.5 ha	0 ha	(認農)B	
認農		水稻	2.2 ha	0 ha	水稻	2.2 ha	0 ha	(認農)C	
認農		野菜	0.8 ha	0 ha	野菜	0.8 ha	0 ha	(認農)D	
認農		水稻	2.3 ha	0 ha	水稻	3.7 ha	0 ha	(認農)E	
認農		水稻	2.5 ha	0 ha	水稻	2.5 ha	0 ha	(認農)F	
認農		水稻、そば	11.9 ha	2.7 ha	水稻、そば	14 ha	2.7 ha	(認農)G	
認農		水稻	2.1 ha	0.1 ha	水稻	2.1 ha	0.1 ha	(認農)H	
認農		水稻	1.7 ha	3.1 ha	水稻	2.5 ha	3.1 ha	(認農)I	
認農		水稻	2.9 ha	0 ha	水稻	3.6 ha	0 ha	(認農)J	
認農		水稻、野菜	2.1 ha	0 ha	水稻、野菜	2.8 ha	0 ha	(認農)K	
認農		水稻	2.4 ha	0 ha	水稻	6.6 ha	0 ha	(認農)L	
認農		水稻	4.1 ha	0 ha	水稻	4.8 ha	0 ha	(認農)M	
認農		水稻、野菜	3.4 ha	0.7 ha	水稻、野菜	4.3 ha	0.7 ha	(認農)N	
認農		水稻	7.7 ha	0.7 ha	水稻	8.7 ha	0.7 ha	(認農)O	
認農		野菜	1.2 ha	0 ha	野菜	1.2 ha	0 ha	(認農)P	
認農		水稻	10.1 ha	0 ha	水稻	10.1 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	2 ha	0 ha	水稻	2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	5.3 ha	0 ha	水稻	5.3 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	0 ha	0 ha	水稻	0 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜、山菜	0.5 ha	0 ha	水稻、野菜、山菜	0.5 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	0.9 ha	0 ha	水稻、野菜	0.9 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	3.8 ha	0 ha	水稻、野菜	3.8 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	2.6 ha	0 ha	水稻	2.6 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	3.1 ha	0 ha	水稻、野菜	3.1 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	0.1 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	3.4 ha	0 ha	水稻、野菜	3.4 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	2.8 ha	0 ha	水稻	2.8 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	0 ha	0 ha	水稻	0 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	2.6 ha	0 ha	水稻	2.6 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	1.4 ha	0 ha	水稻、野菜	1.4 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	5.2 ha	0 ha	水稻	5.2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、花き	1 ha	0 ha	水稻、花き	1 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	3.6 ha	0 ha	水稻	3.6 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	1.2 ha	0 ha	水稻、野菜	1.2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	5.4 ha	0 ha	水稻	5.4 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	1.6 ha	0 ha	水稻	1.6 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	2 ha	0 ha	水稻、野菜	2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	3.5 ha	0 ha	水稻	3.5 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	2.2 ha	0 ha	水稻、野菜	2.2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		養豚	0 ha	0 ha	養豚	0 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻、野菜	7.4 ha	0 ha	水稻、野菜	7.4 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	4.2 ha	0 ha	水稻	4.2 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	0.5 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	3.5 ha	0 ha	水稻	3.5 ha	0 ha	(認農)XXX	
認農		水稻	2 ha	0 ha	水稻	2 ha	0 ha	(認農)XXX	
利用者		水稻、そば	43 ha	10 ha	水稻、そば	49.4 ha	10 ha	(利用者)A	
利用者		水稻	9 ha	1 ha	水稻	10.3 ha	1 ha	(利用者)B	
利用者		水稻	0.1 ha	1 ha	水稻	0.1 ha	1 ha	(利用者)C	
利用者		水稻	0.1 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	(利用者)D	
利用者		水稻	1.1 ha	0 ha	水稻	1.1 ha	0 ha	(利用者)E	
利用者		水稻	4.2 ha	0 ha	水稻	4.2 ha	0 ha	(利用者)F	
利用者		水稻、野菜	0.7 ha	0 ha	水稻、野菜	1.2 ha	0 ha	(利用者)G	
利用者		水稻	3.2 ha	3 ha	水稻	3.4 ha	3 ha	(利用者)H	
利用者		水稻	2.4 ha	0 ha	水稻	2.4 ha	0 ha	(利用者)I	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻、野菜、いも、豆	0.8 ha	0 ha	水稻、野菜、いも、豆	0.8 ha	0 ha	(利用者)J	
利用者		水稻、野菜、いも、豆	1.5 ha	0 ha	水稻、野菜、いも、豆	1.5 ha	0 ha	(利用者)K	
利用者		水稻	1.8 ha	0 ha	水稻	1.8 ha	0 ha	(利用者)L	
利用者		水稻	1.9 ha	0 ha	水稻	1.9 ha	0 ha	(利用者)M	
利用者		水稻	3.9 ha	0 ha	水稻	3.91 ha	0 ha	(利用者)N	
利用者		水稻	2.4 ha	0 ha	水稻	2.6 ha	0 ha	(利用者)O	
利用者		水稻	2.1 ha	0.2 ha	水稻	2.3 ha	0.2 ha	(利用者)P	
利用者		水稻、野菜	2.3 ha	0 ha	水稻、野菜	2.8 ha	0 ha	(利用者)Q	
利用者		水稻	2.1 ha	1.5 ha	水稻	2.9 ha	1.5 ha	(利用者)R	
利用者		水稻、野菜、いも	1.1 ha	0 ha	水稻、野菜、いも	1.2 ha	0 ha	(利用者)S	
利用者		水稻、野菜	0.7 ha	0 ha	水稻、野菜	0.9 ha	0 ha	(利用者)T	
利用者		水稻	1.7 ha	0 ha	水稻	1.71 ha	0 ha	(利用者)U	
利用者		水稻	4.8 ha	0 ha	水稻	5.3 ha	0 ha	(利用者)V	
利用者		水稻	0.6 ha	0 ha	水稻	1.6 ha	0 ha	(利用者)W	
利用者		水稻	1.8 ha	0.5 ha	水稻	2.2 ha	0.5 ha	(利用者)X	
利用者		水稻	2.1 ha	0 ha	水稻	2.3 ha	0 ha	(利用者)Y	
利用者		水稻	1.8 ha	0 ha	水稻	2 ha	0 ha	(利用者)Z	
			ha	ha		ha	ha		
計	78経営体 ()内は認農・認就計		358.7 ha (261.5)	62.7 ha (45.5)		394.26 ha (284.3)	62.7 ha (45.5)		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	中魚沼NOSAIセンター	農薬散布	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	○	うち計画同意者数(人・%)	○(○%)
-------------	---	---------------	-------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

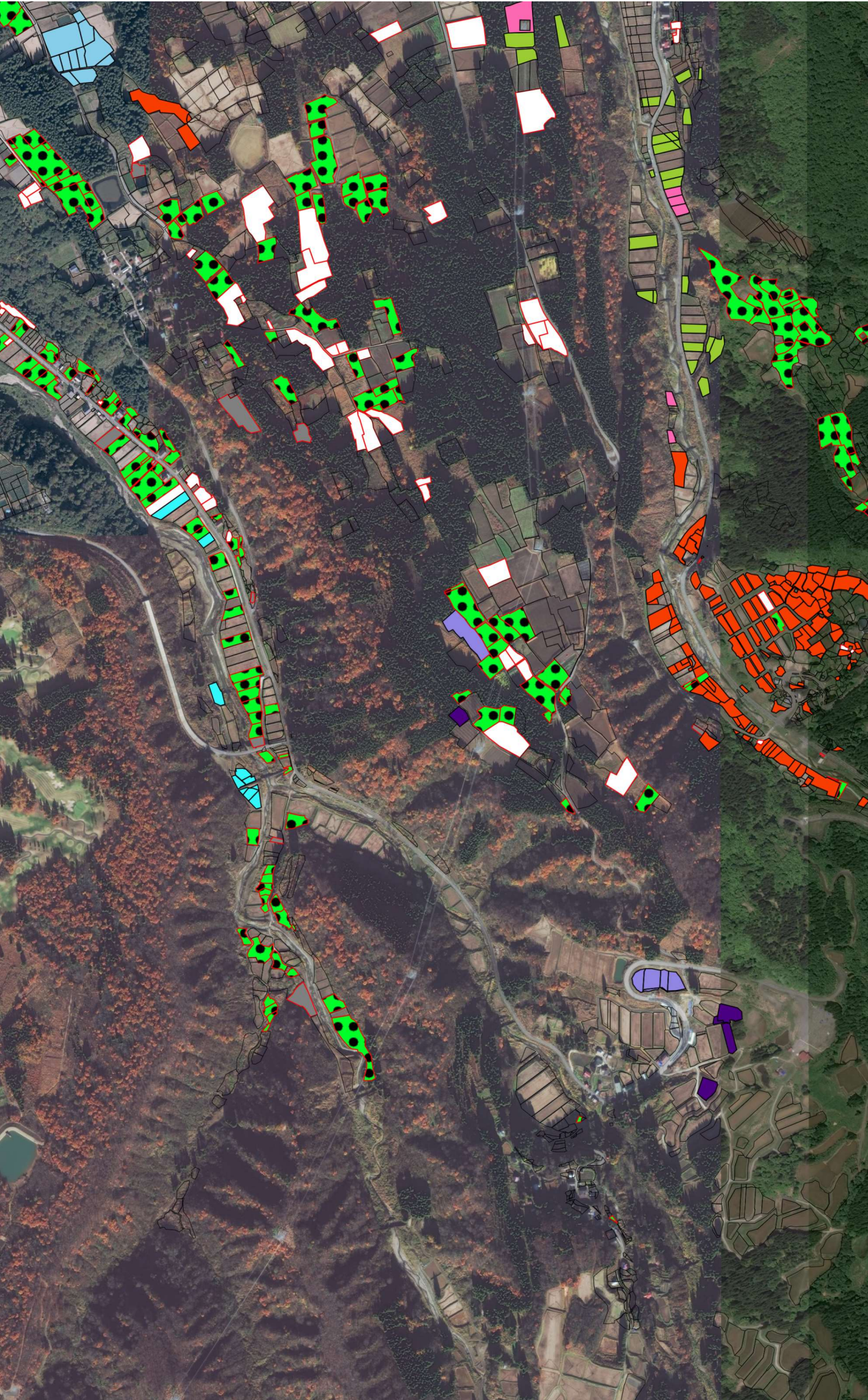
(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

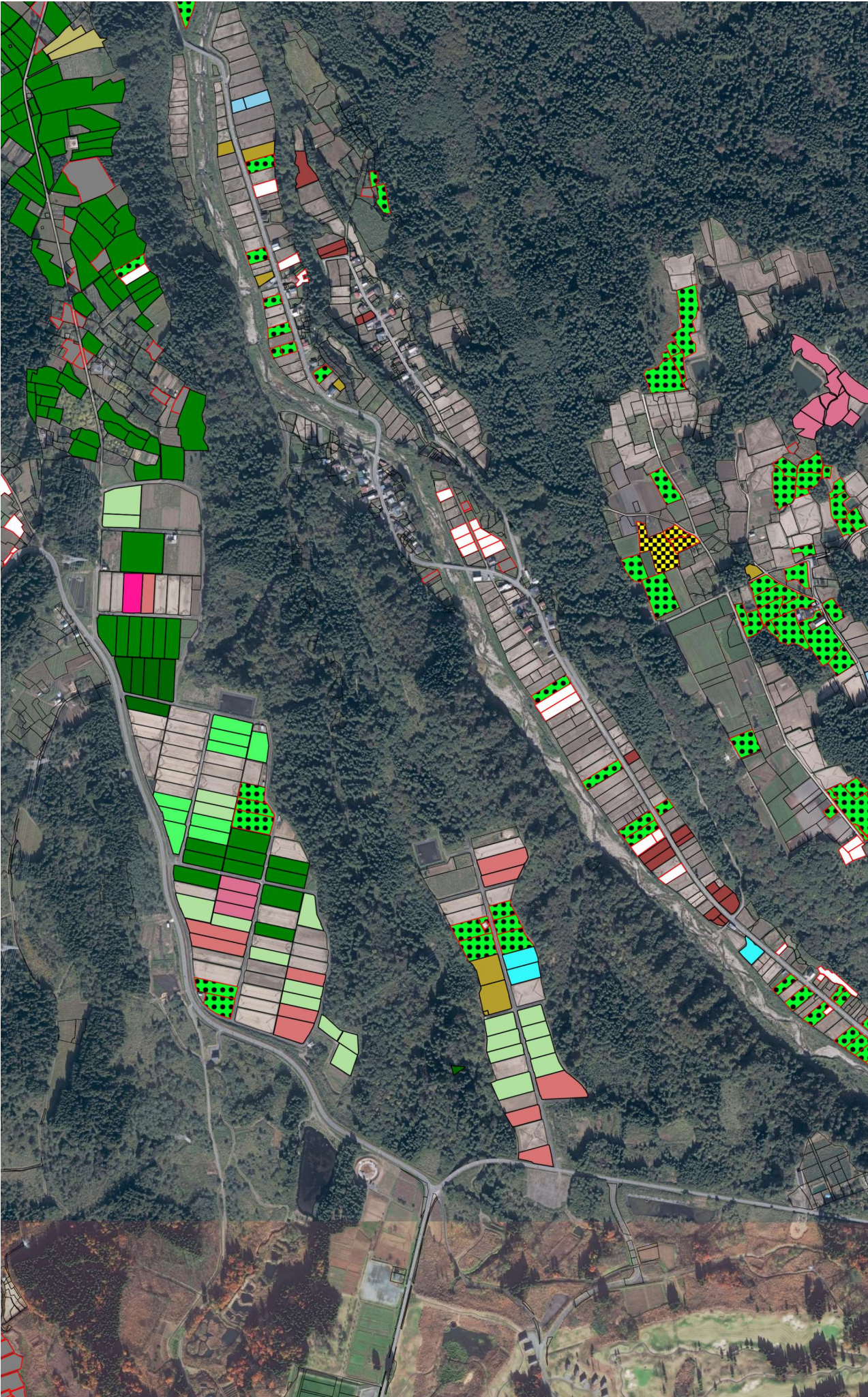
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

水沢地域目標地図【大石、野中、当間、漆島】



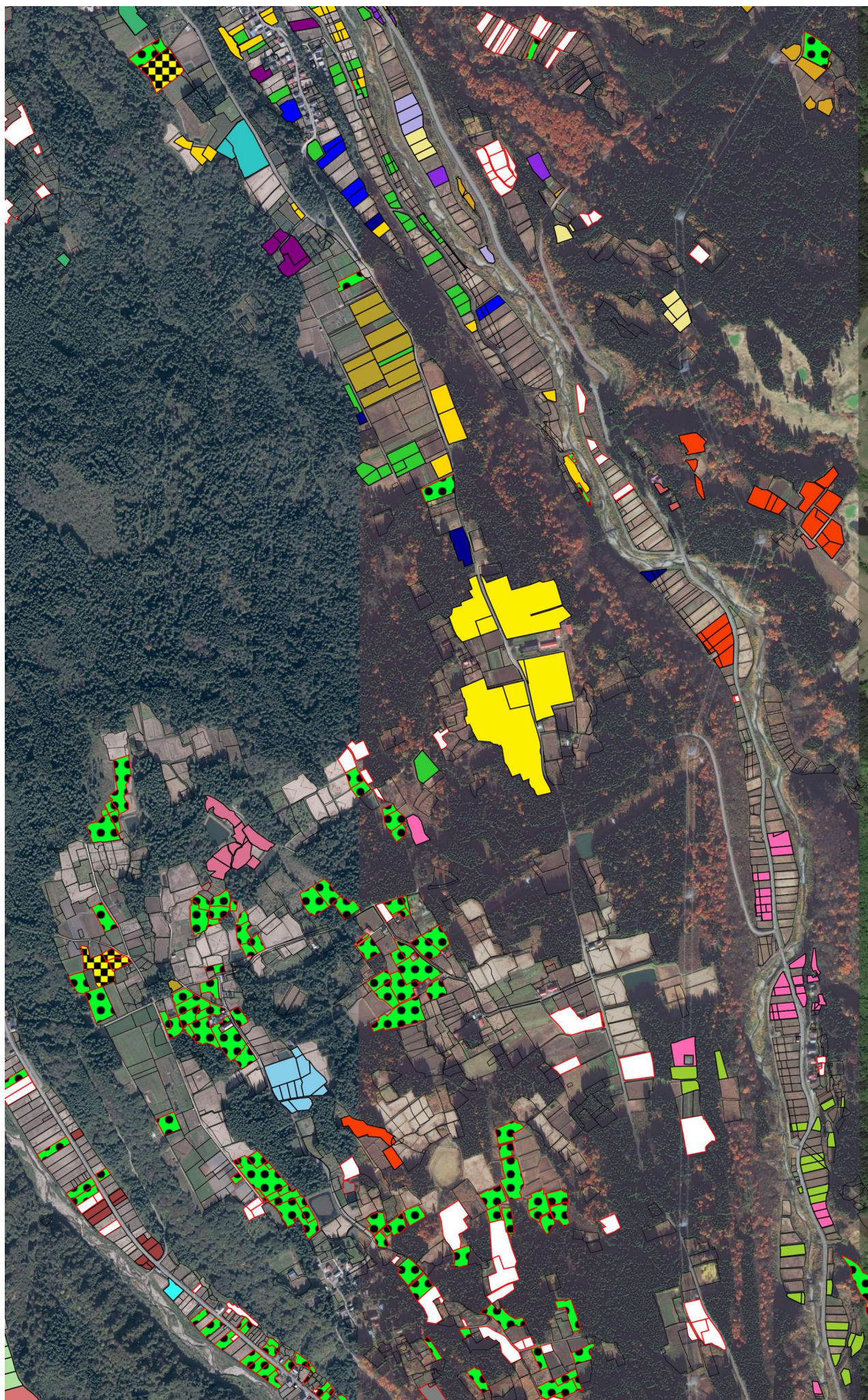
- (認農)法人A
- (認農)法人B
- (認農)法人B 作業受託
- (認農)法人C
- (認農)法人D
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人E
- (認農)法人E 作業受託
- (認農)A
- (認農)B
- (認農)C
- (認農)D
- (認農)E
- (認農)F
- (認農)G
- (認農)H
- (認農)I
- (認農)J
- (認農)K
- (認農)L
- (認農)M
- (認農)N
- (認農)O
- (認農)P
- (利用)A
- (利用)B
- (利用)C
- (利用)D
- (利用)E
- (利用)F
- (利用)G
- (利用)H
- (利用)I
- (利用)J
- (利用)K
- (利用)L
- (利用)M
- (利用)N
- (利用)O
- (利用)P
- (利用)Q
- (利用)R
- (利用)S
- (利用)T
- (利用)U
- (利用)V
- (利用)W
- (利用)X
- (利用)Y
- (利用)Z
- 安全管理
- 今後検討
- (認農)book
- (認農)ZZZ

水沢地域目標地図【水沢市ノ沢、中在家、珠川、大石】



- (認識)法人A
- (認識)法人A 作業受託
- (認識)法人B
- (認識)法人B 作業受託
- (認識)法人C
- (認識)法人C 作業受託
- (認識)法人D
- (認識)法人D 作業受託
- (認識)法人E
- (認識)法人E 作業受託
- (認識)A
- (認識)B
- (認識)C
- (認識)D
- (認識)E
- (認識)F
- (認識)G
- (認識)H
- (認識)I
- (認識)J
- (認識)K
- (認識)L
- (認識)M
- (認識)N
- (認識)O
- (認識)P
- (利用)A
- (利用)B
- (利用)C
- (利用)D
- (利用)E
- (利用)F
- (利用)G
- (利用)H
- (利用)I
- (利用)J
- (利用)K
- (利用)L
- (利用)M
- (利用)N
- (利用)O
- (利用)P
- (利用)Q
- (利用)R
- (利用)S
- (利用)T
- (利用)U
- (利用)V
- (利用)W
- (利用)X
- (利用)Y
- (利用)Z
- 安全管理
- (認識)book
- (認識)ZZZ

水沢地域目標地図【南雲、大石】

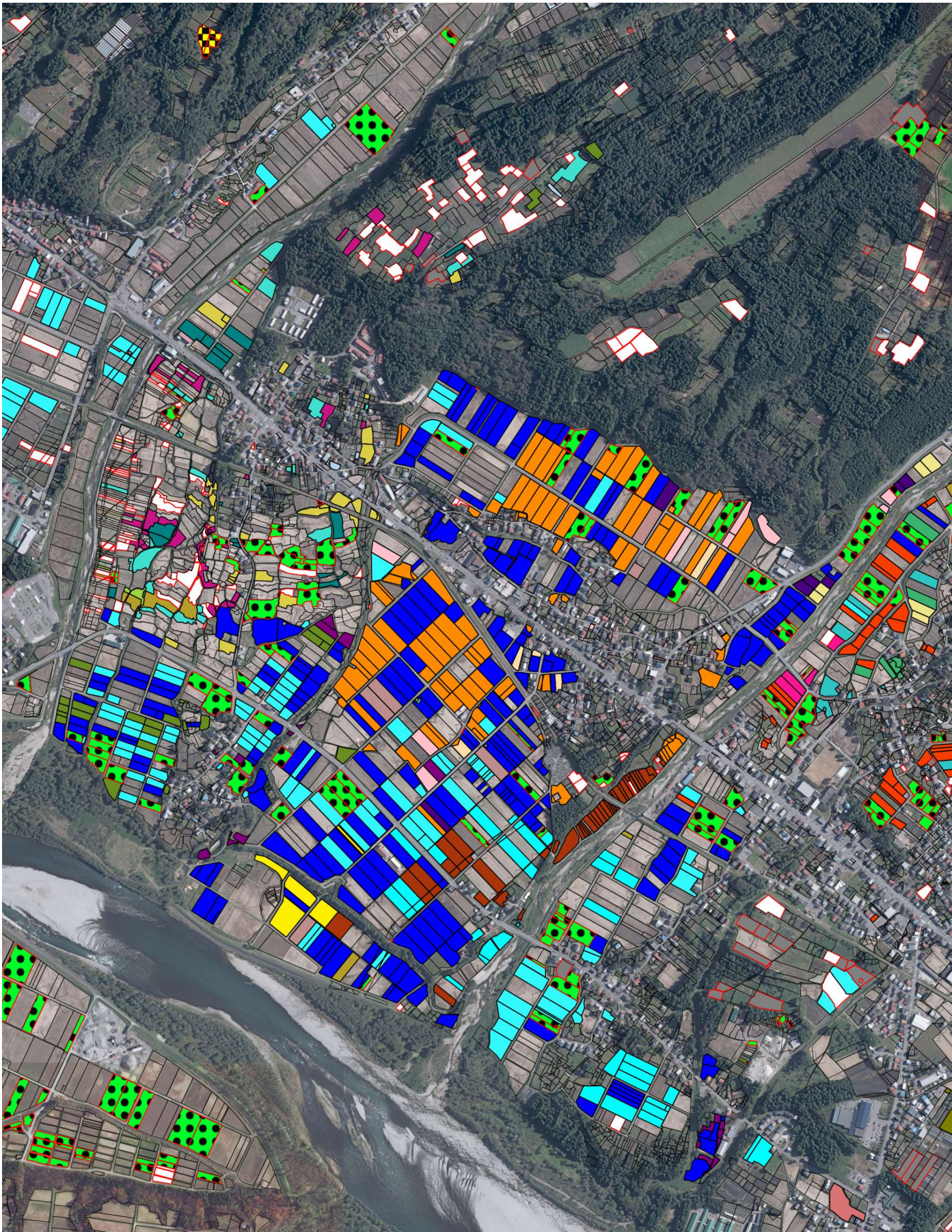


- (認農)法人A
- (認農)法人B
- (認農)法人B 作業受託
- (認農)法人C
- (認農)法人D
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人E
- (認農)法人E 作業受託
- (認農)A
- (認農)B
- (認農)C
- (認農)D
- (認農)E
- (認農)F
- (認農)G
- (認農)H
- (認農)I
- (認農)J
- (認農)K
- (認農)L
- (認農)M
- (認農)N
- (認農)O
- (認農)P
- (利用地)A
- (利用地)B
- (利用地)C
- (利用地)D
- (利用地)E
- (利用地)F
- (利用地)G
- (利用地)H
- (利用地)I
- (利用地)J
- (利用地)K
- (利用地)L
- (利用地)M
- (利用地)N
- (利用地)O
- (利用地)P
- (利用地)Q
- (利用地)R
- (利用地)S
- (利用地)T
- (利用地)U
- (利用地)V
- (利用地)W
- (利用地)X
- (利用地)Y
- (利用地)Z
- 安全管理
- 今後検討
- (認農)book
- (認農)ZZZ

水沢地域目標地図【太田島、馬場、水沢、土市、水沢市ノ沢】



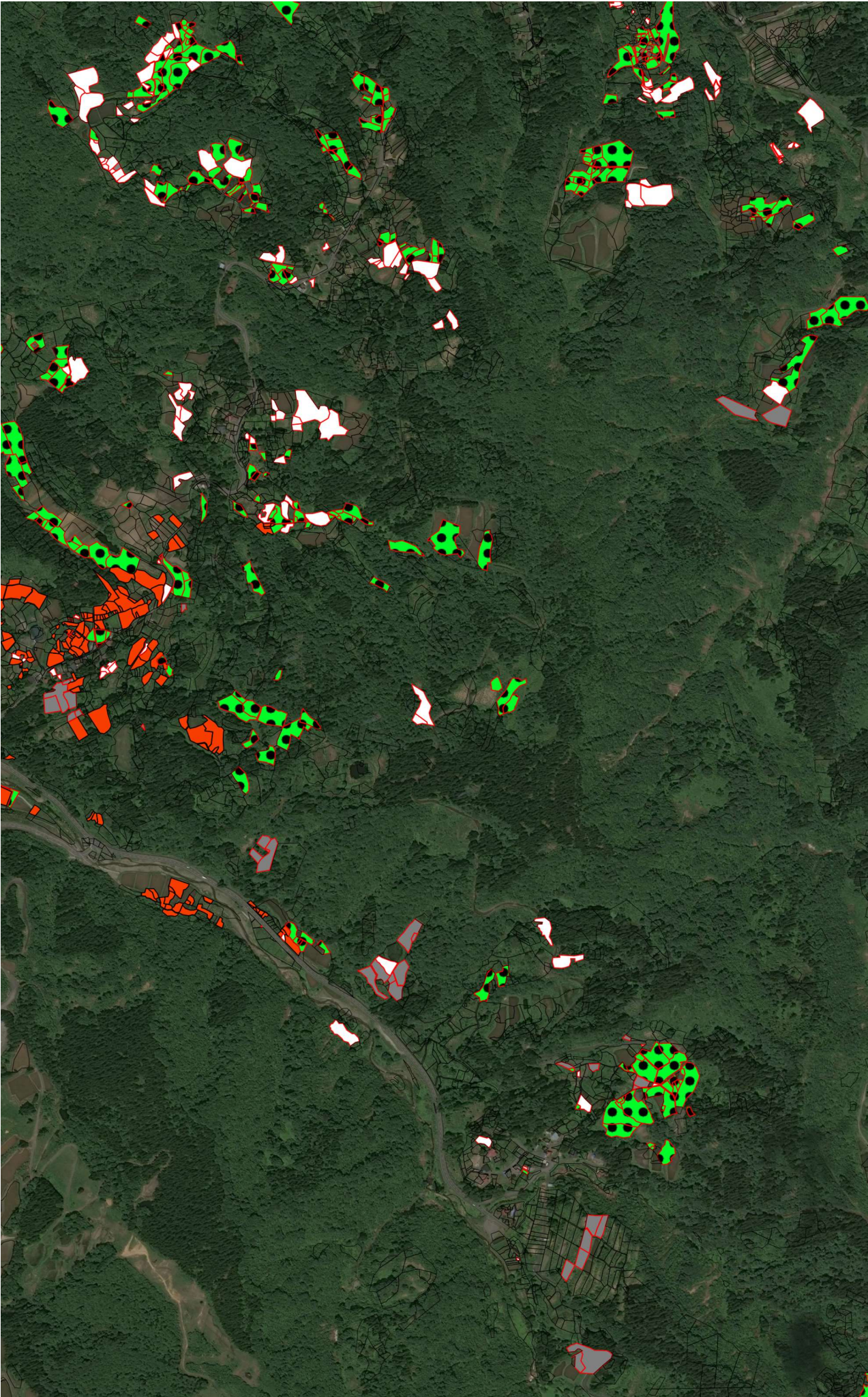
- (認農)法人A
- (認農)法人B
- (認農)法人B 作業受託
- (認農)法人C
- (認農)法人D
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人E
- (認農)法人E 作業受託
- (認農)A
- (認農)B
- (認農)C
- (認農)D
- (認農)E
- (認農)F
- (認農)G
- (認農)H
- (認農)I
- (認農)J
- (認農)K
- (認農)L
- (認農)M
- (認農)N
- (認農)O
- (認農)P
- (利用者)A
- (利用者)B
- (利用者)C
- (利用者)D
- (利用者)E
- (利用者)F
- (利用者)G
- (利用者)H
- (利用者)I
- (利用者)J
- (利用者)K
- (利用者)L
- (利用者)M
- (利用者)N
- (利用者)O
- (利用者)P
- (利用者)Q
- (利用者)R
- (利用者)S
- (利用者)T
- (利用者)U
- (利用者)V
- (利用者)W
- (利用者)X
- (利用者)Y
- (利用者)Z
- 安全管理
- 今後検討
- (認農)XXXX
- (認就)ZZZ



An aerial photograph of a rural landscape, likely in a mountainous region, showing a river flowing through the center. The river is bordered by a road and a small settlement. The land is divided into numerous parcels, many of which are outlined in black. Some parcels are filled with different colors (red, yellow, green, blue, purple, orange, cyan, white) and patterns (green dots, black and white checkered). The map shows a river flowing through the landscape, with a road and a small settlement visible. The parcels are colored in various ways, including solid colors and patterns like green dots and black and white checkered. The river is a prominent feature, flowing from the top left towards the bottom right. The surrounding area is mostly forested, with some cleared land and buildings visible. The overall scene is a detailed representation of land use and ownership in a rural setting.

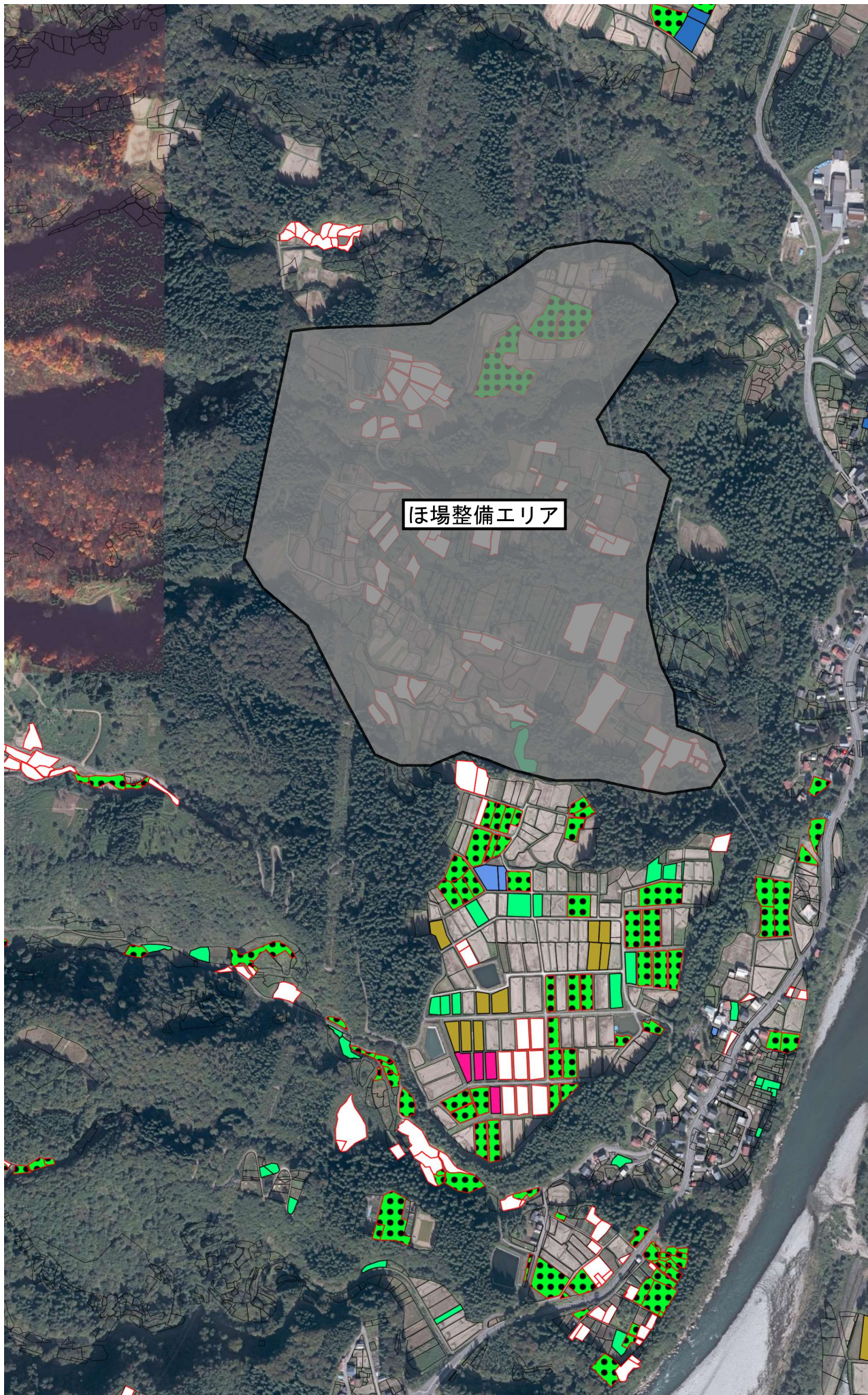
	(認真)法人A	作廢委託
	(認真)法人B	作廢委託
	(認真)法人B	作廢委託
	(認真)法人C	作廢委託
	(認真)法人D	作廢委託
	(認真)法人E	作廢委託
	(認真)法人E	作廢委託
	(認真)A	
	(認真)B	
	(認真)C	
	(認真)D	
	(認真)E	
	(認真)F	
	(認真)G	
	(認真)H	
	(認真)I	
	(認真)J	
	(認真)K	
	(認真)L	
	(認真)M	
	(認真)N	
	(認真)O	
	(認真)P	
	(利用者)A	
	(利用者)B	
	(利用者)C	
	(利用者)D	
	(利用者)E	
	(利用者)F	
	(利用者)G	
	(利用者)H	
	(利用者)I	
	(利用者)J	
	(利用者)K	
	(利用者)L	
	(利用者)M	
	(利用者)N	
	(利用者)O	
	(利用者)P	
	(利用者)Q	
	(利用者)R	
	(利用者)S	
	(利用者)T	
	(利用者)U	
	(利用者)V	
	(利用者)W	
	(利用者)X	
	(利用者)Y	
	(利用者)Z	
	安全管理	
	今後検討	
	(認真)xxx	
	(認真)zzz	

水沢地域目標地図【野中、池沢、鋤柄沢】



- (認農)法人A
- (認農)法人A 作業受託
- (認農)法人B
- (認農)法人B 作業受託
- (認農)法人C
- (認農)法人C 作業受託
- (認農)法人D
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人E
- (認農)法人E 作業受託
- (認農)A
- (認農)B
- (認農)C
- (認農)D
- (認農)E
- (認農)F
- (認農)G
- (認農)H
- (認農)I
- (認農)J
- (認農)K
- (認農)L
- (認農)M
- (認農)N
- (認農)O
- (認農)P
- (利用者)A
- (利用者)B
- (利用者)C
- (利用者)D
- (利用者)E
- (利用者)F
- (利用者)G
- (利用者)H
- (利用者)I
- (利用者)J
- (利用者)K
- (利用者)L
- (利用者)M
- (利用者)N
- (利用者)O
- (利用者)P
- (利用者)Q
- (利用者)R
- (利用者)S
- (利用者)T
- (利用者)U
- (利用者)V
- (利用者)W
- (利用者)X
- (利用者)Y
- (利用者)Z
- 安全管理
- 今後検討
- (認農)xxxx
- (認就)zzz

水沢地域目標地図【姿、安養寺】



- (認農)法人A
- (認農)法人A 作業受託
- (認農)法人B
- (認農)法人B 作業受託
- (認農)法人C
- (認農)法人C 作業受託
- (認農)法人D
- (認農)法人D 作業受託
- (認農)法人E
- (認農)法人E 作業受託
- (認農)A
- (認農)B
- (認農)C
- (認農)D
- (認農)E
- (認農)F
- (認農)G
- (認農)H
- (認農)I
- (認農)J
- (認農)K
- (認農)L
- (認農)M
- (認農)N
- (認農)O
- (認農)P
- (利用地)A
- (利用地)B
- (利用地)C
- (利用地)D
- (利用地)E
- (利用地)F
- (利用地)G
- (利用地)H
- (利用地)I
- (利用地)J
- (利用地)K
- (利用地)L
- (利用地)M
- (利用地)N
- (利用地)O
- (利用地)P
- (利用地)Q
- (利用地)R
- (利用地)S
- (利用地)T
- (利用地)U
- (利用地)V
- (利用地)W
- (利用地)X
- (利用地)Y
- (利用地)Z
- 安全管理
- 今後検討
- (認農)XXXX
- (認農)ZZZZ